令和八年度

学力向上を図るための全体計画

小平市立花小金井南中学校

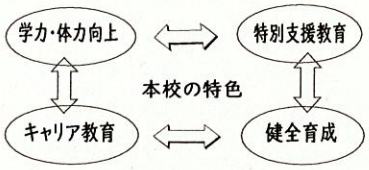
○憲法および教育に関する諸法規
○学習指導要領
○東京都　教育目標
○小平市　教育目標

学 校 教 育 目 標

豊かな心を養い　学力・体力の向上を目指し
未来へはばたく人物を育成する
1　心身ともに健全で　自らを鍛え　努力する人
2　進んで学び　社会のために尽くす人
3　認め合い　支え合う心優しい人

最重要課題
・生きて働く知識・技能の習得
・未知の状況でも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成
・学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養
○豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となる生徒の育成

学校経営方針　～人間尊重の精神に徹し情操豊かで実践力のある人物を育成する～
・全てのこどもに生きる力を育むことを目指し、基礎的・基本的な知識と技能を習得させる
・授業改善推進プランを活用して、計画・実施・評価・改善のマネジメントサイクルを生かした指導
・小学校と連携し中学校で必要な基礎的・基本的事項の定着に努め、習熟度別少人数学習指導等の指導方法の工夫・改善と実践を図る
・特別支援教育の視点にたった環境・授業づくりを目指し、分かる授業を推進する
・家庭と協力しながら、生徒が自ら計画的に家庭学習に取り組めるよう積極的に指導する
・情報教育を体系的に位置づけ、情報化に対応した指導とICT機器を活用した授業改善



各教科の指導の重点

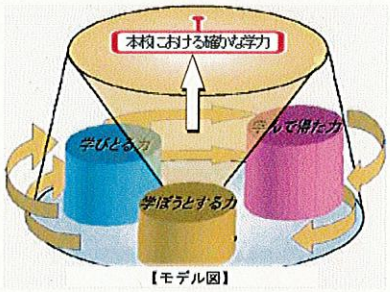
・「授業改善推進プラン」に基づき、個に応じた指導法（少人数授業・TT 他）を生かし、個に応じたきめ細かな指導を行う
・基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させ、課題解決に必要な思考力・判断力・表現力等の育成を図る
・言語活動の充実を図るため、「読む」「書く」「聞く」「話す」を意識した授業を組み立てる
・話し合い活動はもちろん、ICT 機器の活用などを通して、意見を交流する場面を増やし、他者の意見を広く聞き、理解を深める
・生徒の授業評価等を活用し、指導の方法を工夫・改善する
・HP を通して授業の様子を広く紹介し、家庭や地域社会との連携を図る

本校における「確かな学力」

本校では学習指導要領に示された基礎・基本を重視し、自ら学び自ら考える力を育成する。

学習に興味や関心をもつ、疑問に思う、目的が明確になるなどによって「学ぼうとする力」が獲得される。そして、自らやってみる、練習する、課題を自分で考え工夫する、などによって「学びとる力」が獲得される。さらに、分かった、できた、完成した、解決したという状況に至るとき、「学んで得た力」が形成される。「学んで得た力」に含まれる達成感や成就感は、さらに次の問題解決への意欲（学ぼうとする力）を引き出すことができる。これらの活動を繰り返すことにより、「確かな学力」並びに「主体的に学習に取り組む生徒」が形成されていくと考えられる。

さらに新しい学習サイクルである「自分で考える」→「自分の考えを授業で確認する」→「理解を深める」自主学習を推進する。



【モデル図】

道徳教育の指導の重点

・心身の健康増進のため、望ましい生活習慣や食習慣を習得させ、理想や目標を目指し粘り強く積極的に取り組む態度を養う
・勤労と奉仕の精神に基づく協調性と自主性のある人間を育て、人間としてよりよい生き方について考える力を育てる
・道徳教育推進教師を中心に、年間指導・評価計画に基づき、毎時間の指導や生活の中で道徳的実践力を高める
・道徳の授業の様子を保護者会等や HP を通して広く紹介し、家庭や地域社会との連携を推進する
・生命の尊さを理解できるように、かけがえのない自他の生命を尊重する心を育てる

総合的な学習の指導の重点

・自ら設定した課題を解決するために、調べ学習や体験学習、発表会等の活動や探究活動を通して、自ら考え、自ら課題を見付け、解決する力、豊かな表現力等を身に付け、一連の学習活動をとおして、学び方やものの考え方を身に付け、主体的に生きる力の育成を図る

特別活動の指導の重点

・自主的、実践的な活動を通して個性を伸ばし、自主性、創造性を高めるとともに、目的に向かい協力してやり遂げる成就感を体験し、自己を生かす能力と望ましい人間関係をつくる力の育成を図る
・心身の健全な発達と、自他の安全を確保する能力を高め、秩序と調和のとれた集団や社会の一員としての在り方について考える力を育てる

進路指導の重点

・キャリア教育の系統的指導を目指し、新入生体験入学や出前授業などを充実させ、連携小学校との円滑な接続を図る
・キャリア教育を通して、望ましい勤労観・職業観を育み、よりよい生き方を探求する

その他の指導の重点

・特別支援学級との交流を推進し、「相手を理解し、思いやり、支える」心と態度を育てる
・読書マラソン等の取り組みを通して、日常的に読書に親しみ、読書の習慣化を図る
・ティームティーチングによる指導体制で生徒の体力・精神力の向上に取り組む

生活指導の重点

・自主的、自発的な活動を通して集団への所属感を高め、協力、親和、友情などの意義を実践の中で体得させ、好ましい人間関係を育てるとともに、規範意識を醸成する
・深い生徒理解に基づいて、基本的生活習慣の育成や、個に応じた指導の工夫を図る
・特別支援教育推進委員会を中心に、学校生活支援シート等を作成し、特別支援教育を推進する
・学校サポートチーム等を活用し、相談・助言等を通じ地域ぐるみで生徒の健全な育成を進めていく
・いじめ防止授業、ふれあい月間を通して、自己や他者の生命を尊重する態度を育成する
・教育相談活動を組織的に行い、問題行動の早期発見・早期対応を目指す

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
・話し合い活動や ICT 機器の活用で、意見交流の場面を増やし、他者の意見を広く聞き、理解を深めるとともに生徒の自己有用感を育み、学習意欲の向上を図る ・重点的な指導や繰り返し指導などの指導計画やティームティーチングや習熟度別少人数指導などの指導体制を充実させる ・ICT 機器を活用した授業を展開し、自主学習を推進する	・授業時数の管理を適切に行い、授業時数の確保に努める ・校外学習等の行事を適切な時期に配置し生活のリズムを適正にする ・感染症などの社会情勢に応じて、学習支援ツールを使用し、学習の遅延を減らし、生徒の学習の機会を保証する	・教員の指導力・授業力の向上を図るための校内研修会を毎学期、実施する ・教科等研究会等の成果を校内に還元する ・特別支援教育に対する理解を深めるために、巡回相談員と連携を図る	・形成的評価・総括的評価等を適切に実施し、指導計画等の改善に役立てる ・生徒による授業評価を適切に実施し、その変容を確かめ、授業の改善に資する ・授業改善につながる学校関係者評価を実施する	・保護者会や三者面談において各教科指導計画・評価計画等の説明を行う ・面談の機会を全校で設定し、生徒や保護者との相互理解を深める ・地域の人材や学生ボランティアを積極的に導入し、学習支援を充実する

授業改善推進プラン　教科名：特別の教科 道徳

小平市立花小金井南中学校

1 日常の学習状況・課題

1年	学習面	(1)興味・関心をもって授業に取り組んでいる生徒が多い。
		(2)様々な道徳的な価値について、教材を通して考えを深めていく必要がある。
		(3)道徳的価値を高めていくために、日常生活の課題解決をはじめ、全ての教育活動を通して道徳的価値を考えさせていくことが必要である。
	指導面	(1)発問を精選し、生徒の考え語り合う時間を確保している。
		(2)自主、自立、自由と責任・公正、公平、社会正義など様々な内容項目について考えさせ、いじめをしない資質、また物事の善悪などの価値観を育てている。
2年	学習面	(1)自分自身と向き合いよく考えている生徒が多い。
		(2)ペアワークや小グループでは活発に話し合えるが学級全体で自分の考えを積極的に伝え合う必要がある。
		(3)道徳的価値を高めていくために、日常生活の課題解決をはじめ、全ての教育活動を通して道徳的価値を考えさせていくことが必要である。
	指導面	(1)発問を精選し、生徒の考え語り合う時間を確保している。
		(2)自主、自立、自由と責任・公正、公平、社会正義など様々な内容項目について考えさせ、いじめをしない資質、また物事の善悪などの価値観を育てている。
3年	学習面	(1)自分と向き合い、他者の意見も聞きながらよく考えている生徒が多い。
		(2)ペアワークや小グループでは活発に話し合えるが学級全体で自分の考えを積極的に伝え合う必要がある。
		(3)道徳的価値を高めていくために、日常生活の課題解決をはじめ、全ての教育活動を通して道徳的価値を考えさせていくことが必要である。
	指導面	(1)発問を精選し、生徒の考え語り合う時間を確保している。
		(2)自主、自立、自由と責任・公正、公平、社会正義など様々な内容項目について考えさせ、いじめ防止に向けた豊かな心、物事の善悪を判断する力を育てている。

2 授業改善推進プラン

1年	学習面	(1)道徳の時間に教科書を中心とし、様々な資料を用いて授業を行い、話し合い活動を通じて主体的に学習させる。
		(2)道徳の時間で、相互理解、寛容、公平、公正、社会正義など、いじめをしない資質を育て、全ての教育活動において道徳的実践力も育成する。
		(3)日々の生活で起こった、クラスや個人の生活指導上の問題は今後も適時考えさせ、道徳的価値を考えさせる活動を、今後も全ての教育活動を通して行っていく。
	指導面	(1)グループごとの話し合い活動を取り入れ、主体的、対話的な授業を心がける。
		(2)道徳の授業を中心に、自分の役割と責任を自覚させ、集団生活の中で他者との関わりを考える中で自分の在り方をみつめていく。
		(3)日々の生活で起こった、クラスや個人の生活指導上の問題は適時共有し合い、考えさせ、課題を考えさせる活動を、引き続き、全ての教育活動を通して行い、道徳的価値観を育成していく。
2年	学習面	(1)道徳の時間に教科書を中心とし、様々な資料を用いて授業を行い、話し合い活動を通じて主体的に学習させる。
		(2)道徳の時間で、相互理解、寛容、公平、公正、社会正義など、いじめをしない、周りと協力して物事に取り組む資質を育て、全ての教育活動において道徳的実践力も育成する。
		(3)日々の生活で起こった、クラスや個人の生活指導上の問題は今後も適時考えさせ、道徳的価値を考えさせる活動を、これからも全ての教育活動を通して行っていく。
	指導面	(1)グループごとの話し合い活動を取り入れ、主体的、対話的な授業を心がける。互いに意見を交わし多面的・多角的に考えられるようにする。
		(2)道徳の授業を中心に、自分の役割と責任や他者との関わり方を考えさせ、集団生活の中で協力・団結することの重要性を考えさせていく。
		(3)日々の生活で起こった、クラスや個人の生活指導上の問題は適時考えさせ、よりよい解決法を考えさせる活動を、これからも、全ての教育活動を通して行っていく。
3年	学習面	(1)道徳の時間に教科書を中心とし、様々な資料を用いて授業を行い、話し合い活動を通じて主体的に学習させる。
		(2)道徳の時間で、相互理解、寛容、公平、公正、社会正義など、いじめをしない、周りと協力して最善の解決法を考える資質を育て、全ての教育活動において道徳的実践力も育成する。
		(3)日々の生活で起こった、クラスや個人の生活指導上の問題のみならず、社会的な問題も適時考えさせ、道徳的価値を考えさせる活動を、これからも全ての教育活動を通して行っていく。
	指導面	(1)グループごとの話し合い活動を取り入れ、主体的、対話的な授業を心がける。互いに意見を交わし多面的・多角的に考えられるようにする。
		(2)生徒が興味や問題意識をもつことができるような身近な社会問題を取り上げ、主体的な学びができるような資料を用意する。
		(3)日々の生活で起こった、クラスや個人の生活指導上の問題は適時考えさせ、最善の解決法を考えさせる活動を、これからも、全ての教育活動を通して行っていく。

3 授業改善推進プランの評価（成果の確認）

(1)道徳授業地区公開講座などで教員による相互や保護者地域の方に授業評価をしていただき、検証する。
(2)全ての教育活動を通しての教師による、クラスや個人の観察、及び生徒自身による自己評価を比較する。

授業改善推進プラン　　教科名：国語

小平市立花小金井南中学校

1 日常の学習状況・課題		
1年	学習面	(1)進んで漢字テストや音読練習に取り組み、授業にも主体的に取り組む生徒が多い。 (2)グループ活動を通し積極的に発言し、他者の意見を参考にして自分の考えを深めようとしている。 (3)小説・詩・等の心情等の読み取りにおいて想像し、考え、理解することを難しいと感じている生徒が多い。
	指導面	(1)音読のポイントを指示し、朗読や群読につながるような読みの基本が定着するようにしている。 (2)発表活動では理由を添えて、相手に分かりやすく説明するよう心がけている。 (3)理解しやすい題材を教材化し、想像をふくらませることが読解につながる意識をもたせるようにした。
2年	学習面	(1)読むこと、書くことは意欲的に取り組む一方、話すこと・聞くことでは表現の幅を広げる必要がある。 (2)ワークシートを使いながら授業に積極的に取り組む一方、話し合い活動では内容の深まりに差がある。 (3)創作活動は意欲的に行う傾向があるが、説明的文章の資料の読み取りなどは苦手とする生徒が多い。
	指導面	(1)毎時間の目標など目指すところを明確にして、生徒に授業の見通しを立てさせている。 (2)毎時間1時間完結型のワークシートを用意するとともに、話し合い活動を積極的に取り入れている。 (3)読解と創作を組み合わせた活動を行い、学んだことを生かして表現の幅を広げる意識をもたせている。
3年	学習面	(1)音読に積極的に取り組み、発音することを通して様々な語彙を獲得しようとしている。 (2)話し合い活動を通して、他者の意見を聞き、自分の考えと比較して学びを深めようとしている。 (3)文章題において、文章の構成を把握し、様々な文章に対応する力を育んでいく必要がある。
	指導面	(1)単元ごとに音読を複数回実施し、気になる語句などは後から調べるように促している。 (2)毎時間話し合い活動を取り入れて、他者の意見に触れる機会を多く設定している。 (3)段落や文章の型について、筆者の工夫や意図を考えるとともに、毎単元学習をしている。

2 授業改善推進プラン		
1年	学習面	(1)毎回の音読と評価。またその効果を意識し、作品にあった読みができるよう工夫した読みを発表する。 (2)映像資料などを教科書の内容に関連づけ、想像し、自分の知識と併せて読みを深化させる。 (3)読み取ったことを文章化し、理由を添えて説得力のある発表ができるようにする。
	指導面	(1)音読から朗読さらに群読を作りあげる活動を通し、作品の読解力（想像力）を深めさせていく。 (2)グループ活動を通して他者の意見を取り入れ、自身の意見を再構成する活動を増やす。 (3)自分の読み取りを文章化する機会を多く設け、他者の文章と比較して工夫や書き方を学ばせる。
2年	学習面	(1)話すこと・聞くことの単元では目標を明確にし、具体的な活動に生かせるようにする。 (2)話し合い活動の中で、課題に対する考えを広げ、深める過程を意識した活動にする。 (3)説明的文章では基本的な内容を理解した後に、構成や資料の意味を読み取れるようにする。
	指導面	(1)単元全体の目標や身に付けてほしいポイントを示し、生徒自身に目標を立たせ、見通しをもたせる。 (2)内容について深まる発問を提示し、互いの話を聞き、そこから深めていく方法について指導する。 (3)説明的文章の内容自体の理解で収めるのではなく、構成や資料の効果について学ばせる。
3年	学習面	(1)語彙を多く獲得するために、主体的に様々な文に触れていくことが必要である。 (2)話し合い活動で他者と意見を比較し、自分の考えや読みを広げられるようにする。 (3)文章の構成を把握して、読み取りたい内容を適切に抜き出す力をつける必要がある。
	指導面	(1)図書室とも連携して様々な文種や本に主体的に巡り合えるよう指導していく。 (2)話し合い活動を毎時間取り入れ、発問ごとに他者の意見と比較して考えを深める時間を確保する。 (3)文章の構成についての知識を再確認し、読み取りたい内容を適切に書き抜けるよう指導していく。

3 授業改善推進プランの評価（成果の確認）
(1)観点別学習状況の評価の前年度との比較
(2)定期テスト、小テスト、小プリント
(3)授業アンケート、レポート、コンクール作文等
(4)授業内容についての自己評価表

授業改善推進プラン　教科名：数学

小平市立花小金井南中学校

1 日常の学習状況・課題		
1年	学習面	(1) 一部であるが計算力を中心とした、基礎学力の向上が課題である。 (2) 授業にも慣れ、積極的・意欲的に数学の学習に取り組む生徒が増えてきた。
	指導面	(1) 学力の定着に課題のある生徒の補充学習を行い、学力向上を図っていく必要がある。 (2)「思考力・判断力」を向上させる指導が必要である。
2年	学習面	(1) 意欲的に学習に取り組む生徒が増えてきた。 (2)「知識・技能」については、一定のレベルを保っている。 これからも「思考力・判断力・表現力」を中心に実力を高める指導が必要である。
	指導面	(1) 学力の定着に課題のある生徒の学力向上を図っていく必要がある。 (2)「思考力・判断力・表現力」の力を高めさせる指導が必要である。
3年	学習面	(1) 意欲的に学習に取り組む生徒が多い。 (2)「知識・技能」については、一定のレベルを保っている。 積極的・意欲的に数学の学習に取り組む生徒が増えてきた。
	指導面	(1) 生徒の更なる学力向上が課題である。一部であるが基礎学力の向上が課題である (2)「思考力・判断力・表現力」高めていく授業が必要である。

2 授業改善推進プラン		
1年	学習面	(1) 繰り返し学習させることにより、基礎学力を身に付けさせる。それとともに達成感を感じ、より意欲を高める工夫を行っていく。 (2) 学習の定着状況等についての小テストややり直しテストを行い学習の定着を行う。
	指導面	(1) 学力の定着に課題のある生徒に対する対策として、補充教室をするなど、個別の対応を行う。 また、TT（チームティーチング）を生かし、学び合い学習を取り入れ、分かる生徒が苦手な生徒に教える場面を作り、様々な生徒が達成感を得られるようにする。 (2) 文章題を扱う時間を増やし、文章題作成についても授業に盛り込んでいく。 また、問題に対するヒントなど設問を工夫し、考える時間をできるだけ確保する。
2年	学習面	(1) 反復練習をさせることにより、基礎学力を身に付けさせる。達成感を味わわせ、より意欲を高めていく。 (2) 学習の定着状況等について小テストややり直しテストを行い学習の定着を行う。
	指導面	(1) 学力の定着に課題のある生徒に対する対策として、基礎学力補充課題を作成するなど、習熟度別少人数授業を生かして個別の対応を行う。 (2) 文章題応用問題を扱う時間を増やしていく。また、問題に対するヒントなど設問を工夫し、考える時間をできるだけ確保する。 (3) 既習事項を、身近な事象に活用する課題を取り上げ、自分の考えを発表する時間を作る。
3年	学習面	(1) 繰り返し学習を状況に応じて取り入れることや、基礎学力の定着や達成感を感じさせることにより、より意欲を高めていく。 (2) 学習の定着状況等についての小テストやリベンジテストを行い学習の定着を行う。
	指導面	(1) 学力の定着に課題のある生徒に対する対策として、習熟度別少人数授業を生かして、計算力向上のため個別に対応する。 (2) 文章題などの発展的な問題を扱う時間を増やし、既習事項の活用の仕方を練習する。 また、問題に対してヒントとなる設問を入れ、じっくり考える時間や学び合い学習を行う時間を確保する。

3 授業改善推進プランの評価（成果の確認）
(1) 定期考査での学習結果の前年度との比較と成績下位層と上位層の生徒の変容
(2) 観点別学習状況の評価の変容
(3) 定期テスト、やり直しテスト
(4) 授業内容についての自己評価表

授業改善推進プラン　教科名：英語

小平市立花小金井南中学校

1 日常の学習状況・課題

1年	学習面	(1) 聞くこと：英語での簡単な指示や教科書等の簡単な聞き取りはできる。英文量が多かったり少し複雑になったりすると難しさを感じる生徒もいる。 (2) 読むこと：大まかに読み取ることはできる。代名詞の表す語や英文の流れをつかむなどを読み取ることが難しい生徒もいる。 (3) 話すこと：ペアワークに、意欲的に取り組んでいる。即興で答えることは難しい。 (4) 書くこと：話した英文を正確に書くことには課題がある。
	指導面	(1) 英語を聞くことに慣れさせるため、授業内の指示や教科書本文の内容理解など、英語を聞き取る場面を多く設定している。 (2) 教科書本文の内容を、用意した設問を通して読み取る活動を行っている。 (3) 毎時のペアワークまた教師とのオーラルインタラクションを設けている。 (4)話した英文は必ず書くこととし、また書いた英文のフィードバックをする。
2年	学習面	(1) 聞くこと：簡単指示や短い英文の聞き取りはできる。長い文章になると、整理しながら聞き取ることが難しい。 (2) 読むこと：単語や読み方のヒントを与えると、内容を把握できる。 (3) 話すこと：簡単なテーマでは、既習事項を活用しながら話せるが、会話を膨らませることが難しい。 (4) 書くこと：正しい文法や語順で、正確な英文を書くことが難しい。
	指導面	(1) 聞くこと：教科書内容やリスニング教材を活用して、英語を聞き取る場面を多く設定している。 (2) 読むこと：教科書本文内容の設問を授業ごとに設定し、正確に読み取る力を養っている。 (3) 話すこと：帯活動でスモールトークを設定している。また、ALTと1対1で話す場面を設定している。 (4) 書くこと：単語や英文の正しい語順を身に付けさせるために、英文ノートを課題として課している。
3年	学習面	(1) 聞くこと：内容が長くなると話の全体を把握し状況から判断して聞き取ることが難しい。 (2) 読むこと：多少長い文であっても、読み方のヒントや設問の方法を工夫すれば読み取れる。 (3) 話すこと：ドリル要素のある会話練習は比較的容易である。即興で話すことや会話を膨らませることは課題である。 (4) 書くこと：ある程度まとまりのある英文を書くことができている。書ける量や文の種類も増えてきた。
	指導面	(1) リスニング教材、教科書本文の内容を聞き取る活動を行うことで、概要や詳細な情報を聞き取る力を育成している。 (2) 帯活動として毎授業100語程度の英文を読んだり、教科書のReadingを利用し、必要な情報や概要など読み方の練習と問題の答え方の練習をしたりする活動を継続的に行っている。 (3) ペアワークやグループワークを多く取り入れ、教え合いながら、アイディアを共有し、使える表現を増やしていけるようにしている。 (4) まずは単語や基礎的な文の定着を図るために、粘り強く正しく書く練習をするように促す。また、既習の文構造や表現を使った英文を書く課題を設けながら、よくある間違いを授業で共有し、まとまりのある内容の文章を正確に英文を書く力を付けられるように指導している。

2 授業改善推進プラン

1年	学習面	(1)聞くこと：教科書本文やリスニング教材の内容の聞き取ったり、教師やクラスメイトの話に注意深く耳を傾けたりすることを通して、必要な情報を聞き取る力を身に付ける。 (2) 読むこと：大まかに読むことのほか、学校増えていく英文量に対応するため、代名詞の示す内容や前置詞など細かい部分も確認する。 (3) 話すこと：Q&Aのペア活動で、質問に正しく答えることに加え、プラス1文の表現をペアやクラスで共有し、会話の幅を広げていく。 (4) 書くこと：小テストや復習で繰りの定着を図り、正しく書けるようにする。簡単な英語で事実や考えをまとまりのある英文で書く練習を重ね、表現力を伸ばす。
	指導面	(1) 聞くこと：教科書の本文内容聞き取りなど、英文を聞く機会を多くつくり、また音読練習で英語らしい音のつながり等も指導していく。 (2) 読むこと：教科書本文の読みとりの設問をさらに工夫するとともに、新出語の提示の際には、コロケーションにも意識させて指導する。 (3) 話すこと：正しく質問に答えることができるように、帯活動で繰り返し学習し、定着を図る。また発音やイントネーションを意識して話すように指導する。 (4) 書くこと：定期的に英文を書く練習をする時間を設け、教科書の文を真似したり、少し変えたりしながら正しく書く練習を徹底的に行う。
2年	学習面	(1) 聞くこと：教科書本文やリスニング教材の英文の概要を、必要な情報を整理しながら、正確に聞き取る。 (2) 読むこと：単語や熟語、代名詞や前置詞を理解し、文章の概要を正確に読み取る。 (3) 話すこと：質問された内容に答えるだけでなく、自身の気持ちを伝えたり、質問を返したりする。 (4) 書くこと：既習事項の文法や単語を使って、正確な英文を使って表現する。
	指導面	(1) 教科書内容やリスニング教材など、様々な英文を聞き取る場面を設定し、英語らしい音に慣れさせる。 (2) 教科書内容に関する設問を工夫し、英語の語順を意識した正しい英文で答える練習を増やす。 (3) 使えそうな単語や、質問を返す時の表現などのヒントを提示し、複数回のやり取りができる場面を設定する。 (4) 書くこと：教科書やワークに記載されている英文を活用し、正しい英文を書く練習を繰り返し行う。
3年	学習面	(1) 聞くこと：話されている内容を理解し、必要な情報や概要など正しく聞き取り答える力を伸ばす。 (2) 読むこと：文章を読むことを楽しみつつ、文書の概要や必要な情報を正しく読み取る力を伸ばす。また、多読を意識し、文章を読むスピードの向上を図る。 (3) 話すこと：聞かれた内容に対して答えるだけでなく、自分の考えや相手への質問なども付け加えて会話に広がりがもてるように練習する。また、初見の絵や映像等をみて、それについて瞬時に英語で描写したり、説明したりする練習を増やす。 (4) 書くこと：書きたい内容を自分の分かる語彙や知っている表現を使って、正しく伝えられるように練習をする。
	指導面	(1) リスニング問題の練習回数を増やし、入試に向けて様々なタイプの問題を練習し、正しく答える力をつける。 (2) 2学期以降、文章を読む活動を増やし、様々なタイプの文章を用意する。要点を掴み、正しく答える練習を行う。 (3) QAやチャットなど、間違いを気にせず自己表現ができる活動を取り入れ、生徒間で教え合う時間を増やす。新出語の提示にはコロケーションも意識させて指導する。 (4) 文法や語彙を「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を使って練習し、即興で考えて正しい英文で表現できる力を伸ばしていく。また、接続詞や副詞等を適切に使用できるように指導する。

3 授業改善推進プランの評価（成果の確認）

(1) 観点別学習状況の評価の前年度との比較

(2) 定期テスト、小テスト、復習確認テスト

(3) パフォーマンステスト、発表活動

(4) 授業中に扱ったワークシート、自己評価、定期テスト振り返り

授業改善推進プラン　教科名：理科

小平市立花小金井南中学校

1 日常の学習状況・課題		
1年	学習面	（1）主体的に授業に取り組んでいる生徒が多く、授業内の課題にも積極的に取り組んでいる。 （2）考察において根拠を示して表現することに課題がある。 （3）話し合い活動において理科が得意な人の意見を鵜呑みにしてしまう課題がある。
	指導面	（1）授業ごとになぜその内容を学習する必要があるかを丁寧に説明するように努めている。 （2）考察の書き方を指導するとともに、評価後に自分の書いた内容を振り返るようにしている。 （3）話し合い活動を多く取り入れ、思考を深められるようにしている。
2年	学習面	（1）生徒は授業に主体的に取り組んでいる。来年度に向け家庭学習への取り組みを定着させる必要がある。 （2）話し合い活動を通して考えを深める姿勢がみられるが、情報を数理的に処理するトレーニングを必要とする。 （3）箇条書きなど短文で記録することはできるが、多面的な見方をして自らの言葉で表現する力を伸ばしていく。
	指導面	（1）ノートやプリントで学習を振り返り自己評価することで、基礎基本をなす知識の定着を図っている。 （2）毎時間、本時の課題を解決するための発問をし、読み解くヒントを出しながら取り組んでいる。 （3）博物館など専門機関の教材を活用し、生徒同士の話し合い活動を通して、思考力や表現力の向上を図っている。
3年	学習面	(1)積極的に取り組み、科学の考え方が身に付き、表現力が向上している。たくさんの視野をもつことに興奮を覚え、学ぶことができている。ノート・課題づくりに向き合い、学びの蓄積をつくることに希望をもっている。 (2)授業内の取り組みを応用し、日常の行動につなげていこうとする姿が見られる。
	指導面	(1)伝え合う活動により、発信と受信、思考の再構築の習得が日常的にできるようになった。 (2)思考する力の成長に伴い、自分一人で考察をつくることができるようになった。 (3)共有による世界の広がりを体感させ、科学の知識が人によって発見されたものであることを実感できている。

2 授業改善推進プラン		
1年	学習面	（1）学習する意義を見いだせるような生徒を増やす。 （2）考察を根拠を示して自分の言葉で表現できるようになる。 （3）話し合い活動において、自身と他者の意見を吟味できるようになる。
	指導面	（1）学習する意義を見いだせるように授業で使う言葉を精査していく。 （2）根拠の書き方を指導するとともに、生徒の良い例を提示していく。 （3）話し合い活動でのルールを明確化し、共有する良さを伝えていく。
2年	学習面	（1）デジタル教材等ICTをより一層効果的に活用し、個別学習の最適化と学習効率の向上を図る。 （2）考察・推論する場合、既習の知識やデータ等をもとに、全体を振り返って論理的に説明する。 （3）教科書や教材に加え、自然現象に関する資料も活用し、多面的・多角的に事象を捉える。
	指導面	（1）事後学習として、自己採点方式の小テストを実施し、基本的知識の定着を図る。 （2）小グループでの学び合いを効果的に行い、意見交換などを通して、思考の再構築を図る。 （3）各単元にある問い(Before &Aafter) で、「科学的な見方・考え方」を働かせる力を育成する。
3年	学習面	(1)ノートづくり、振り返り、メモリーツリーづくり、家庭学習の習慣を継続的に行えるように活動をしていく。 (2)考える時間、情報共有を行う時間を確保し、アウトプットする機会をつくる。クラス全体に共有する機会をつくる。 (3)基礎的な知識を定着させるために語句を丁寧に学ぶ課題を設け、手応えをつけさせ、学ぶ習慣を作る。
	指導面	(1)考える時間と情報共有を行う時間を確保し、アウトプットする機会をつくる。クラス全体に共有する機会をつくる。 (2)基礎的な知識が身についていない生徒に対しては、語句を丁寧に学ぶ課題を設け、学ぶ習慣を作る。 (3)学ぶ意味を理解し、ただ学ぶのではなく、『なぜ学ぶのか』を理解させ学習を進めていく。

3 授業改善推進プランの評価（成果の確認）
(1)観点別学習状況の評価の前年度との比較
(2)定期テスト、小テスト、小プリント
(3)授業アンケート、レポート
(4)授業内容についての自己評価表

授業改善推進プラン　教科名：社会科

小平市立花小金井南中学校

1 日常の学習状況・課題		
1年	学習面	(1)授業中に集中して取り組んでいる生徒が多く、主体的に情報を得ようとする習慣がある。 (2)地理的な事象について、思考することができる。 (3)複数の資料から必要な情報を読み取る力に課題がある。
	指導面	(1)小テストで学習内容の定着を計っている。 (2)地理的事象の見方、考え方を高めるような声掛けをしている。 (3)資料を読み取るポイントを指示しながら、より多くの資料の提示、読み取る時間を設けている。
2年	学習面	(1)社会を苦手としている生徒もみられるが、目的・目標を意識して授業に取り組んでいる生徒が多い。 (2)社会的事象に関して、その背景や影響等を考える思考力に課題がある。 (3)複数の資料から必要な情報を読み取る力に課題がある。
	指導面	(1)単元ごとに単元テストを実施し、基本的な知識が定着できるようにしている。 (2)社会的事象に対して、様々な視点で考察するように促している。 (3)資料を読み取るポイントを指示しながら、より多くの資料の提示、読み取る時間を設けている。
3年	学習面	(1)授業に対して集中して意欲的に取り組んでいる生徒が多い。 (2)社会的事象に関して、その背景や影響を捉えるとともに、多面的・多角的に考察する力に課題がある。 (3)複数の資料を関連付けて考察したり、自分の考えを表現する力に課題がある。
	指導面	(1)単元ごとに単元シートや単元テストを実施し、基本的な知識の定着を図っている。 (2)社会的事象に対して、現代社会とのつながりを意識しながら、様々な視点で考察するように促している。 (3)資料を比較・関連付ける活動や、単元シートなど根拠を明確にした記述活動を継続的に行う。

2 授業改善推進プラン		
1年	学習面	(1)知識を定着させるために、学んだことを表現する活動を増やす。 (2)映像資料などを教科書の内容に関連づけ、様々な立場から考えるようにする。 (3)授業プリントや教科書、様々な資料と関連づけ、多面的・多角的に事象を捉えるようにする。
	指導面	(1)重要事項などを生徒に伝えた上で小テストを行い、基本的な知識の定着を図る。 (2)グループ学習などを活用し、他者の意見を取り入れ、自身の意見を再構成する活動を増やす。 (3)多面的・多角的なものの見方ができるように、資料を厳選した上で複数提示する。
2年	学習面	(1)知識を定着させるために、学んだことを表現する活動を増やす。 (2)映像資料などを教科書の内容に関連づけ、様々な立場から考えるようにする。 (3)授業プリントや教科書、様々な資料と関連づけ、多面的・多角的に事象を捉えるようにする。
	指導面	(1)重要事項などを生徒に伝えた上で単元シートの作成を実施し、基本的な知識の定着を図る。 (2)グループ学習などを活用し、他者の意見を取り入れ、自身の意見を再構成する活動を増やす。 (3)多面的・多角的なものの見方ができるように、資料を厳選した上で複数提示する。
3年	学習面	(1)知識を定着させるために、学んだことを表現する活動を増やす。 (2)映像資料などを教科書の内容に関連づけ、様々な立場から考えるようにする。 (3)授業プリントや教科書、様々な資料と関連づけ、多面的・多角的に事象を捉えるようにする。
	指導面	(1)重要事項などを生徒に伝えた上で、単元テストや単元シートを実施し、基本的な知識の定着を図る。 (2)グループ活動などを活用し、自身の考えを深め、また他者に伝える力をつけさせる。 (3)多面的・多角的なものの見方ができるように、資料を厳選した上で複数提示する。

3 授業改善推進プランの評価（成果の確認）
(1)観点別学習状況の評価の前年度との比較
(2)定期テスト、小テスト、小プリント
(3)授業アンケート、レポート、コンクール作文等
(4)授業内容についての自己評価表

授業改善推進プラン　教科名：音楽

小平市立花小金井南中学校

1 日常の学習状況・課題		
1年	学習面	(1)どのクラスも学力向上を目指し、意欲的に授業に取り組んでいる。 (2)表現活動に意欲的に取り組む意識があるが、姿勢や発声、読譜力に課題がある。 (3)鑑賞の学習への取り組みは、静かに落ち着いて鑑賞する態度が身についている。
	指導面	(1)表現活動に必要な発声や楽器の奏法の基礎を身につけさせる。 (2)表現の基礎的な知識・読譜力等を身につけさせる。
2年	学習面	(1)どのクラスも学力向上を目指し、意欲的に授業に取り組んでいる。 (2)自主的に考え音楽を創り上げる意識があるが、言葉で表現する力に課題がある。 (3)鑑賞の学習への取り組みは、意欲的に鑑賞する態度が身についている。
	指導面	(1)表現活動に必要な発声や楽器の奏法をしっかりと身につけさせる。 (2)表現の基礎的な知識・読譜力等を身につけ、自ら考え表現する力をつける。
3年	学習面	(1)どのクラスも学力向上を目指し、意欲的に授業に取り組んでいる。 (2)バランス、ハーモニーなどを考えて、音楽を創り上げる意識がある。 (3)「鑑賞」の学習への取り組みは、意欲的に鑑賞する態度が身についている。
	指導面	(1)表現活動に必要な発声や楽器の奏法を身につけ、工夫して表現させる。 (2)表現の基礎的な知識・読譜力等を身につけ、自ら考え意欲的に表現する力をつける。

2 授業改善推進プラン		
1年	学習面	(1)音楽表現をするために、姿勢や演奏の基礎を身につけさせる。 (2)音符や楽譜上に記載されている記号を表現に活用できるように意識させる。 (3)リーダーを中心に、課題を見つけ練習できるようにさせる。
	指導面	(1)ホワイトボード、プロジェクター、ICTを活用し、授業の目標、流れを提示、展開する。 (2)課題の目標を明確に提示し、練習の仕方を具体的に指示する。 (3)音楽表現に必要な基礎的な知識・読譜力等を身につけられるよう、ワークシートを活用し、自ら考え、書き、発表、話し合いをさせる。また、ICTを効果的に活用する。
2年	学習面	(1)音楽表現をするために、自ら工夫して表現できるようにさせる。 (2)音符や楽譜上に記載されている記号を表現に活用できるように意識させる。 (3)リーダーを中心に、課題を見つけ練習できるようにさせる。
	指導面	(1)ホワイトボード、プロジェクター、ICTを活用し、授業の目標、流れを提示、展開する。 (2)課題の目標を明確に提示し、練習方法を工夫させる。 (3)音楽表現に必要な基礎的な知識・読譜力等を身につけられるよう、ワークシートを活用し、自ら考え、書き、発表や話し合いの機会を多くする。また、ICTを効果的に活用する。
3年	学習面	(1)音楽表現をするために、豊かな表現力を身につけさせる。 (2)音符や楽譜上に記載されている記号を表現に活用できるように意識させる。 (3)リーダーを中心に、お互いに高めあえるような練習をさせる。
	指導面	(1)ホワイトボード、プロジェクター、ICTを活用し、授業の目標、流れを提示、展開する。 (2)課題の目標を明確に提示し、どのように表現するか考えさせる。 (3)音楽表現に必要な基礎的な知識・読譜力等を身につけられるよう、ワークシートを活用し、自ら考え、書き、発表や話し合いの機会を多くする。また、ICTを効果的に活用する。

3 授業改善推進プランの評価（成果の確認）
(1)観点別学習状況の評価の前年度との比較
(2)歌唱・器楽の実技テスト、定期テスト、ワークシート 等
(3)授業における生徒の様子、授業内容についての自己評価表授業アンケート 等
(4)授業アンケート 等

授業改善推進プラン　　教科名：技術・家庭科

小平市立花小金井南中学校

1 日常の学習状況・課題

1年	学習面	(1)学習の振り返りなど、学習の内容を詳しく言語化できるような表現力を身につけさせる必要がある。 (2)基礎的な学力や既習事項を定着させる必要がある。 (3)ものづくりなどの実体験があまり多くない生徒もおり、課題解決までの見通しをもって取り組めるようにする必要がある。
	指導面	(1)学習者用端末やモニターなど、視聴覚教材を使用して学習・確認できるような工夫を行っている。 (2)自分の考えを説明するための表現力を身に付けさせる必要がある。 (3)個に応じた指導を行い、実習作業についての対応を行っているが、時間がかかる生徒もいる。
2年	学習面	(1)活動中心ではあるが、学習の振り返りや言語化できる課題に積極的に取り組む生徒が多い。 (2)意欲的に実習や作業に取り組むことができている。また、集中して実習に取り組む生徒が多い。 (3)ものづくりなどの実体験があまり多くない生徒もおり、課題解決までの見通しをもって取り組めるようにする必要がある。
	指導面	(1)学習者用端末やモニターなど、視聴覚教材を使用して学習・確認できるような工夫を行っている。 (2)自分の考えを説明するための表現力を身に付けさせる必要がある。 (3)個に応じた指導を行い、実習作業についての対応を行っているが、時間がかかる生徒もいる。
3年	学習面	(1)授業ごとの学習目標を理解したうえで、課題に取り組むことができる生徒が多い。 (2)意欲的に実習や作業に取り組むことができている。また、集中して実習に取り組む生徒が多い。 (3)ものづくりなどの実習の経験も行ってきているので、課題解決までの見通しをもって学習できる生徒が増えている。
	指導面	(1)テキストなどを活用することで、限られた時間の中で活動できるように行えている。 (2)クロームブックやモニターなど、視聴覚教材を使用して学習・確認できるような工夫を行っている。 (3)個に応じた指導を行い、実習作業についての対応を行っているが、時間がかかる生徒もいる。

2 授業改善推進プラン

1年	学習面	(1)個に応じた指導をテキスト、ワークシート、ICT活用などで充実させる。 (2)作業の時間を確保できるよう、導入や教材の工夫を行う。 (3)適切な題材を選択し、毎時間の到達目標をホワイトボードに明確に記し、見通しをもたせる。 (4)夏休みに、生活体験を増やすような宿題を出す。
	指導面	(1)理解を促せる授業プリントなどを作成し、生徒の課題に合わせて改善や修正を行うなど工夫を行う。 (2)作業手順の画像表示などは視聴覚機器やアプリケーションを活用し、理解しやすいように工夫する。 (3)小テスト、学習のまとめ、作品状況などによる学習定着状況の把握し、その生徒に合った課題設定を行うようにする。
2年	学習面	(1)個に応じた指導をテキスト、ワークシート、ICT活用などで充実させる。 (2)作業の時間を確保できるよう、導入や教材の工夫を行う。 (3)適切な題材を選択し、毎時間の到達目標をホワイトボードに明確に記し、見通しをもたせる。 (4)夏休みに、生活体験を増やせるような課題を出す。
	指導面	(1)理解を促せる授業プリントなどを作成し、生徒の課題に合わせて改善や修正を行い、更なる工夫をする。 (2)作業手順の画像表示など視聴覚機器を活用し、生徒が理解しやすいように工夫する。 (3)中間評価（小テスト、学習のまとめ、作品状況など）による学習定着状況の把握し、その生徒に合った課題設定を行うようにする。
3年	学習面	(1)1時間ごとの到達目標をホワイトボードの活用などで明確にし、集中して作業できるようにしていく。 (2)個に応じた指導をテキスト、ワークシート、ICT活用などで充実させる。 (3)家庭での課題を出し、生活体験を増やしていく。
	指導面	(1)授業プリント・学習ノート等を活用し、短時間での理解を深める工夫を行う。 (2)モニターなどの視聴覚教材や学習者用端末を活用して、内容を理解しながら実習を行える工夫をする。 (3)小テスト、学習のまとめ、作品状況などによる学習定着状況の把握し、個別に指導を行えるようにする。

3 授業改善推進プランの評価（成果の確認）

・小テスト、学習題材のまとめ、レポート、作品状況などで生徒の学習の状況を確認する。

授業改善推進プラン　　教科名：　美術

小平市立花小金井南中学校

1 日常の学習状況・課題		
1年	学習面	(1)どのクラスも意欲的に作品制作に取り組み、主体的に授業に取り組んでいる生徒が多い。 (2)目の前にあるものに対して興味を示し制作に活かすことができるが、0から創り出すための思考力に課題がある。 (3)制作した自分の作品に対して客観的に捉えることや他者の作品を鑑賞して自身の作品に活かす力をつける。
	指導面	(1)表現活動に必要な基本的な技能と知識が定着できるようにしている。 (2)道具の扱い方やけがをしないための注意を授業内で伝え、板書して気を付けるよう意識させている。 (3)完成作品を例としていくつか提示し、各自が良いと感じた表現を作品制作に活かせるようにしている。
2年	学習面	(1)どのクラスも意欲的に作品制作に取り組み、主体的に授業に取り組んでいる生徒が多い。 (2)目の前にあるものに対して興味を示し制作に活かすことができるが、0から創り出すための思考力に課題がある。 (3)制作した自分の作品に対して客観的に捉えることや他者の作品を鑑賞して自身の作品に活かす力をつける。
	指導面	(1)表現活動に必要な基本的な技能と知識が定着できるようにしている。 (2)道具の扱い方やけがをしないための注意を授業内で伝え、板書して気を付けるよう意識させている。 (3)完成作品を例としていくつか提示し、各自が良いと感じた表現を作品制作に活かせるようにしている。
3年	学習面	(1)授業中の作品制作を始め、鑑賞授業でも意欲的に取り組んでおり、基本的な知識は定着している。 (2)作品制作に意欲的な生徒が多いが、そうではない生徒もいるため、机間指導をして質問しやすい状況を作っている。 (3)小グループでの鑑賞活動にはおおむね意欲的に取り組む一方、内容の深まりには生徒間で差がある。
	指導面	(1)表現活動に必要な基本的な技能と知識が定着できるようにしている。 (2)道具の扱い方やけがをしないための注意を授業内で伝え、板書して気を付けるよう意識させている。 (3)定期的に小グループでの話し合いや鑑賞活動を行い、助言を伝えあって主体的に学ぶ力を育んでいる。

2 授業改善推進プラン		
1年	学習面	(1)知識・技能を定着させるために、学んだことを作品に表現する意識をつけさせる。 (2)教科書や資料集を活かせるよう、制作課題の内容に関連づけ、知識技能を定着させる。 (3)授業プリントや教科書、様々な資料と関連づけ、多面的・多角的に事象を捉えるようにする。
	指導面	(1)重要事項などを生徒に伝えた上で単元テストを実施し、基本的な知識の定着を図る。 (2)グループ学習などを活用し、他者の意見を取り入れ、自身の意見を再構成する活動を増やす。 (3)多面的・多角的なものの見方ができるように、資料を厳選した上で複数提示する。
2年	学習面	(1)学習者用端末、デジタル教材を効果的に活用していく。 (2)表現意図に応じた創意工夫に、主体的に取り組む姿勢を身に付けさせたい。 (3)授業プリントや教科書、様々な資料と関連づけ、多面的・多角的に事象をとらえるようにする。
	指導面	(1)重要事項などを生徒に伝えた上で単元テストを実施し、基本的な知識の定着を図る。 (2)グループ学習などを活用し、他者の意見を取り入れ、自身の意見を再構成する活動を増やす。 (3)話し合い活動の場面をより多く設定し、自身の考えを深め、また他者に伝える力をつけさせる。
3年	学習面	(1)学習者用端末、デジタル教材を効果的に活用し、更なる知識の定着を図る。 (2)表現活動に対する興味によって、制作進度に個人差がある。 (3)授業プリントや教科書、様々な資料と関連づけ、多面的・多角的に事象をとらえるようにする。
	指導面	(1)授業プリントの中で、表現に必要な「見方・考え方」を働かせられるような問いを設定する。 (2)複数の資料を提示するなどして、様々な視点から制作方法や表現方法を考えられるようにする。 (3)話し合い活動の場面をより多く設定し、自身の考えを深め、また他者に伝える力をつけさせる。

3 授業改善推進プランの評価（成果の確認）
(1)観点別学習状況の評価の前年度との比較
(2)定期テスト、鑑賞プリント
(3)授業アンケート
(4)授業内容についての自己評価表

授業改善推進プラン　教科名：保健体育

小平市立花小金井南中学校

1 日常の学習状況・課題		
1年	学習面	(1) 体力要素の投力と全身持久力の向上を図る必要がある。 (2) 心身の発達と心の健康について日常生活と関連付けて考えることが課題である。 (3) 自分で考える力、各場面における状況判断に課題がある。
	指導面	(1) 準備運動の中で基礎体力作りのトレーニング種目を1年間通して指導している。 (2) 課題に応じた学習場面を複数用意し、課題解決に取り組ませている。 (3) 授業のねらいを明確化するために、ホワイトボード等を活用して授業展開を図っている。
2年	学習面	(1) 体力要素の投力と全身持久力の向上を図る必要がある。 (2) 健康と環境、傷害の防止について日常生活と関連づけて考えることが課題である。 (3) 言語活動を通して、自己や他者の運動課題を見つけ出し解決していく点に課題がある。
	指導面	(1) 準備運動の中で課題に適した補強運動を実施するように指導している。 (2) 授業のねらいを明確にし、理解を促しながら自ら問題を解決できるように指導している。 (3) T・Tの利点を活かし個別指導・習熟度別指導を取り入れて授業展開を図っている。
3年	学習面	(1) 体力要素の投力と全身持久力の向上を図る必要がある。 (2) 健康な生活と疾病の予防について日常生活と関連づけて考えることが課題である。 (3) 言語活動を通して、自己や他者の運動課題を見つけ出し解決していく学びの姿がある。
	指導面	(1) 各単元において課題に応じた運動動作を意識するように言葉かけを行う。 (2) 自らの健康・安全の課題に対して適切に対処し、管理していく判断力を養う。 (3) 生徒同士で学び合い、切磋琢磨する環境づくりに努めている。

2 授業改善推進プラン		
1年	学習面	(1) 自己の体力要素の課題を理解し、向上が図れるように意識して取り組む態度を身に付ける。 (2) 成功体験を増やし、楽しさを感じながら運動に取り組む態度を身に付ける。 (3) 学習カード等を有効活用し、振り返りや学びの機会を増やして言語活動の充実化を図る。
	指導面	(1) 年間を通して、補強運動や一校一取組（持久走）の中で課題のある体力要素に対し克服を図る。 (2) ICTを用いて、映像資料の提示などを行い、生徒が具体的なイメージをもって課題に取り組むことができるようにする。 (3) スモールステップの課題を設定し、運動が苦手な生徒も積極的に取り組む授業展開を行う。
2年	学習面	(1) 自己の体力要素の課題を理解し、向上が図れるように意識して取り組む態度を身に付ける。 (2) 発達段階や日常生活における個々に応じた課題を設定し、達成できるようにする。 (3) グループ活動で話し合いの場を設定し、他者との違いや自己の考えを振り返るようにする。
	指導面	(1) 年間を通して、補強運動や一校一取組（持久走）の中で課題のある体力要素に対し克服を図る。 (2) 個々の課題を明確にし、技術の向上を図れるように学習プリントを有効活用して解決を図る。 (3) スモールステップの授業展開から、習熟度に合わせて授業展開を行っていく。
3年	学習面	(1) 自己の体力要素の課題を理解し、向上できるように仲間と切磋琢磨して取り組む態度を身に付ける。 (2) 発達段階や日常生活における個々に応じた課題を設定し、解決が図れるように学習する。 (3) グループ活動を通して、思考力・判断力・言語力が向上できるように学習する。
	指導面	(1) 視聴覚機材やICTを利用した授業展開を行い、視覚による運動の構造を理解できる指導を行う。 (2) 体育・保健の両分野の知識・判断力を向上するために、理解しやすい言語指導を行う。 (3) グループ活動を通して、自分たちに適した練習方法や、工夫する態度を身に付ける指導を行う。

3 授業改善推進プランの評価（成果の確認）
(1) 学習カードや学習プリントの内容から毎時間ごとの評価と単元全体における変容を見る。 (2) 定期的な技能評価を行う。 (3) 1つの単元終了時に単元テストを実施し、知識や思考・判断の評価を行う。